

宮崎大学医学部附属病院 外科 専門医養成プログラム【第2外科】

1. プログラムの概略・特徴

当科は、心臓・血管外科、呼吸器・食道・胸壁・乳腺外科および消化器・内分泌・一般外科という幅広い外科の分野をカバーしている。外科専門医の取得の際、必須とされる手術の経験（消化管及び腹部内臓、乳腺、呼吸器、心臓・大血管、末梢血管、頭頸部・体表・内分泌、小児外科、各臓器の外傷鏡下手術）をすべて第2外科内で行うことができ、卒後臨床研修修了後4年間で日本外科学会専門医資格を取得することが可能である。

2. 研修目標

【一般目標】

第2外科の3つの診療グループをローテートし、外科専門医の取得のために必須とされる手術の経験（消化管及び腹部内臓、乳腺、呼吸器、心臓・大血管、末梢血管、頭頸部・体表・内分泌、小児外科、各臓器の外傷鏡下手術）を積み、外科専門医となり、さらなる専門分野を目指すことのできる医師を目指す。

【行動目標】

- ①呼吸器・心臓血管・消化器および内分泌外科系の発生、構造と機能を理解し、各疾患の病因、病理病態、疫学に関する専門的知識を習得できる。
- ②呼吸器・心臓血管・消化器および内分泌疾患の診断に必要な問診および身体診察を行い、それに対する理学的所見を取得できる。また画像検査（X線、CT、MRIなど）の専門的読影を習得できる。さらに超音波検査、各種内視鏡、カテーテル検査など特殊検査を実際に行い評価できる。
- ③各疾患別に一般状態、加齢、臓器機能、合併疾患を評価し、総合的な治療計画の策定と手術適応の決定、術式の選択ができる。
- ④患者とその家族に病状と外科的治療に関する適応、合併症、予後について十分な説明ができる。
- ⑤高齢者、ハイリスク患者を含む複雑合併症を有する手術症例を十分に経験し評価することができる。

3. 研修スケジュール

卒後臨床研修修了後の最短コース

- 1年目 第2外科に入局。基本的には入局年は大学病院内で外科研修を行う。
希望によっては関連施設での修練も可能。
- 2～3年目 大学病院内もしくは関連施設で修練を積む。この期間は手術術者としての経験を積めるようプログラムされる。また3年目終了までに心臓血管外科、呼吸器・胸部外科、消化器・内分泌外科にて最低6ヶ月間研修を積む。3年目終了時点で予日本外科学会専門医予備試験を受けることができる。
- 4年目 認定試験を受け、専門医を取得する。

その後も希望があれば各チームをローテーションは可能であるが、入局後5年目くらいまでには希望する専門分野のチームスタッフとなり各領域で専門技術を高めていく。しかしその個人の希望および目的に応じたプログラムを組むことも可能であり、大学院における基礎・臨床研究や関連施設に多く出向し総合外科医として進むこともできる。

4. 評価

日本外科学会外科専門医の取得

5. 募集人員

5名

6. 実施責任者

宮崎大学医学部外科学講座 循環呼吸・総合外科学分野 教授 中村 都英

7. 指導責任者

宮崎大学医学部外科学講座 循環呼吸・総合外科学分野 准教授 富田 雅樹

8. 関連施設、学会認定状況

指定施設：宮崎大学医学部附属病院、宮崎県立延岡病院、宮崎市郡医師会病院、佐世保市立総合病院、同心会古賀総合病院、国立病院機構南九州病院など。

関連施設：宮崎県立日南病院、宮崎善仁会病院、済生会日向病院、千代田病院、国立病院機構宮崎東病院、宮崎市立田野病院、迫田病院、延岡共立病院など。

9. その他

当科では外科専門医だけでなく下記の専門医取得も可能です。

呼吸器外科専門医（卒後8年）、気管支鏡専門医（卒後7年）、

内視鏡外科専門医（卒後8年）、心臓血管外科専門医（卒後8年）、

循環器専門医（卒後8年）、消化器外科専門医（卒後8年）、消化器病専門医（卒後8年）

消化器内視鏡専門医（卒後8年） *（）は最短の取得年数を示す。

当科では、心臓血管外科グループ、胸部外科グループ（呼吸器・食道・乳腺など）、腹部・一般外科グループ（消化器・一般外科および内分泌外科）のすべてを最低半年以上修練するため、総合的な手術手技を習得することが可能である。日本外科学会専門医を取得した後に各専門領域の修練および専門医取得を行っていく。

10. 連絡先

宮崎大学医学部外科学講座 循環呼吸・総合外科学分野

富田 雅樹

TEL : 0985-85-2291

FAX : 0985-85-5563

E-mail : mtomita@med.miyazaki-u.ac.jp